

下堰親水から鯉が消えた！

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

大規模なサンプリングを実施するため下堰親水を訪れた時思わず息を飲んだ。「鯉が一匹もない！」以前は少なくとも十数匹はいたのに。鯉は淡水魚の王者だ。鱗をきらめかせ慈々とした姿は美しく風格さえ感じたものだった。今年は記録的な干天が続いた。そのせいで小魚の群れを多く見るようになった。「真光寺まつり2004」では、鯉のサンプルを採集する子ども達と「光君」「寺ちゃん」と名前をつけてやった。今、下堰親水は主が不在の家のように空っぽだ。自然の回復は人智で図りきれないものがある。巧みな自然淘汰の法則によるものか、自然の回復の遅さか。疑問はいつまでも解かれない。自分見守っているしかない。

8月

8月8日(日)8月度清掃日
前日久しぶりに参加した。暑い日が続いた。ボランティアの高校生も参加する。先日、堤川でも参加していた。後援な少年達だ。それに田中さん、新井さん、心強い。開戸親水で清掃作業。アブラハヤの鯉が数匹多く見られた。自転車2台を引く。少年達は晴れ渡り、能く各々の役割をこなしていった。アクシデントがあった。清掃中に突如吹き出した一面に飛び散ってしまった。暑さで体調がシロップは難儀である。会館をかけた。心から反省。

8月10日(火)
有志で下堰のデルタ地帯にキンネソリを植える。岩上さんが確保してきたもの。ご婦人方は種にとりわけ熱心だ。丹精した絶滅品種カラノギクが可憐な花を咲かせた。

8月12日(金)
真光寺中の久保田先生から一年生を対象にトークと川の体験学習の依頼がある。昨年も感想文をもった。大歓迎。

8月13日(木)
水のサンプル採集。日中の炎暑を避けて夜明けの採集を思い立つ。家を4時にスタートする。下堰親水を経て開戸親水で東の空が茜に染まるのを見た。広袴公園では水中

の橋に白鷺が20羽近く群れていた。せせらぎ緑道では散歩中の古者と歓談、元真光寺駐在所裏で採集を終え6時半に帰宅。早朝の採集は快運だった。

8月

8月2日(木)
真光寺中で一年生を対象にトーク。コンピュータ教室でホームページの映像を使いながら進める。終了後、花田教頭から校庭の池について話がある。真光寺川の植物が植えられたピオトープにしたこと。素晴らしい計画だ。できるだけ協力したい。



8月9日
真光寺中一年生の下堰親水での体験学習

8月4日(土)
山本さんが主宰する広袴公園の清掃作業を応援する。池は意外に浅い。ところが底はヘドロだ。足を取られて転倒、ドブネズミのようになる。洗っても洗ってもヘドロが落ちないのは閉口した。終了後、せせらぎ緑道の源流でEM菌の効果を確認。真光寺中へ行き池を見学する。

8月3日(木)
真光寺中一年生の川体験学習。有志で対応。午後1時半、57名を下堰親水に迎える。川に入って清掃作業する者、測定のゴミ拾いをする者いい汗を流す。約1時間半。終了後、ピオトープ作成のため河原の植物とデルタ地帯の土をバケツに採集。3時半隊伍を組んで帰って行った。

9月12日(日)9月度清掃日
前日は能ヶ谷神社の秋の例祭。後片づけをすることになったので神社に立ち寄り、お祈りをして開戸親水へ急ぐ。観測と作業。終了後全員で真光寺中のピオトープを見に行く。高橋さんが届けたプラントーンに前日真光寺川で採集した草が植えられていた。池田さんが入れたメダカ150匹も泳いでいる。ピオトープらしくなってきた。

9月16日(木)
水のサンプル採集。8時にスタート。下堰親水、鯉の数が半分に減っている。開戸親水に至る間、小魚の群を多く見る。鯉の減少、小魚の増加、河川が変化しつつあるのだろうか。透明度は増しているようだ。松前さんのご意向で細菌に加えpH、COD、PO4、NO2の分析データも取ることにした。いずれデータが体系的に蓄積されてくるのが楽しみだ。夕方、鶴三小に伺う。岸、大橋先生と4年生の「ごみフェスタ2004」での展示と発表について打ち合わせする。児童は35名になるそうだ。2班に分かれ舞台で2度発表してもらうことになる。

10月

10月3日(日)「ごみフェスタ2004」朝から激しい雨になった。前日、テントをめ張りに行った時は高曇りだったのにと恨まらしい。7時、横田さんから「舞台での発表中止」の連絡がある。鶴三小に電話する。早朝だが松本教頭、岸先生も見えていて児童の参加中止を決定する。せめて模造紙に纏めた資料はブースに展示したいと願う。

中村、二田、山岡さんをお願いした「エコゾリー作り」は会館内での実施となる。人気があり終日希望者が絶えなかった。

10月10日(日)10月度清掃日
「鶴見川流域クリーンアップ作戦」を兼ねて実施する予定だった。前日は台風22号の影響で終日強い雨が降った。午前6時、権現橋に川の様子を見に行く。濁流ではないが増水している。9時、下堰親水へ。本館から野村さんが見える。真光寺の桜井さんが新たに参加。9時半、透視度、pH、CODの観測。増水で川の中での作業は無理なのでごみを拾いながら上流へウォーキングすることになる。神明橋近辺、また住宅が数軒建造中。残された谷戸の風景が次第に矢われて行く。広袴公園ではシロサギ、ペン、カイツブリ等が観察された。せせらぎ緑道の源流ではEM菌ダンゴ投入の効果を確認する。「アオコ」の発生が確かに減っている。真光寺中のピオトープでメダカの棲息を確認。12時、作戦終了を宣言。能ヶ谷いこい会館に帰り反省会。今後体系的に観測しデータベースを蓄積することについて話し合う。

10月16日(土)
鶴三小「創立40周年記念祝賀会」へ出席。教育長、近隣の小学校長、PTA関係者等多数参加。一期生は部会議員もいる。40年前出を切り開いて校庭を作るた往時が語られる。田村教頭先生から「午前の児童の部では真光寺川のことが出ていました」と報告がある。子ども達の合唱や父兄のクワルデットがあり爽やかな祝賀会だった。

10月22日(金)
真光寺中に有志で伺いピオトープの打ち合わせを行う。花田教頭と「自然観察部」担当の飯田先生出席。岩上さんからそれぞれ役割分担と野草植栽の計画について提案する。生徒の関心を高めながらじっくり取り組むことになる。

10月27日(水)
鶴三小で開催された「道徳授業地区公開講座」に出席。最近の教育の一端に触れられて大いに啓発された。

10月29日(金)
水サンプル採集。雨のため再々延期となりようやく実施できた。下堰親水に至り鯉の姿が消えたことを発見！愕然とする。